

中村三奈子さんをさがす会会報



第24号 平成29年 12月 発行
中村三奈子さんをさがす会代表 金井 英雄

TEL:090-4279-4724

E-mail: mina1998-tuyukus@m2.nct9.ne.jp

HP: <http://www2.nct9.ne.jp/murasaki-tuyukus/>

ブログ: <http://ameblo.jp/sagasukai98/>

FB: <https://www.facebook.com/sagasukai98>

Twitter: <https://twitter.com/sagasukai98>

振替口座 郵便局 「中村三奈子さんをさがす会」
00510-1-80532

さがし続けて 19年

さがす会代表 金井 英雄

「中村三奈子さんをさがす会」に対して、いつもご支援ご協力をいただきありがとうございます。

今回の市民集会も、今まで同様、長岡市の共催、新潟県と長岡青年会議所の後援をいただき開催することができました。皆様方多数ご参加いただき、本当にありがとうございました。

三奈子さんが行方不明になってから、19年という長い歳月が流れ、9月に三奈子さんは38歳の誕生日を迎えました。

この間、お母さんは、12回程韓国に行き、三奈子さんをさがしてこられました。国内でも警察にお願いをしたり、皆様方からお寄せいただいた情報を頼りにさがしたりしましたが、未だに有力な情報は得られておりません。

弁護士の須田先生は、講演の中で、三奈子さんの場合は、特殊な人を送り込んでの拉致、強制失踪に当たる拉致ということで、拉致には変わりないと言っておられました。

国に拉致認定されていない特定失踪者のご家族の皆様が、今年の8月、大沢昭一さんを代表とした「特定失踪者家族会」を結成。日本人が北朝鮮に多数拉致され、未だ帰国できないでいるこの現実を、オランダにある国際刑事裁判所（ICC）へ告発していく準備を進めておられます。

「拉致」を絶対風化させてはなりません。今後ともより一層のご支援ご協力よろしく願いいたします。

最後になりましたが、いつも我々の会にもご支援ご協力して下さった長島忠美先生が、8月に突然お亡くなりになりました。皆様と共に先生のご冥福をお祈りしたいと思います。

※皆様から頂いた署名（800名）を11月18日の県民集会で加藤拉致担当大臣に届けました。

また、募金もご協力いただき有難うございました。



集会の記録

☆ 挨拶を頂いた皆様の骨子

< 磯田 達伸 長岡市長 >

- 忙しい中、たくさんの方に参加していただき感謝している。失踪して19年が経過。風化、忘れ去られるのではないと思うが、長岡市民として決して忘れてはならない。
- 声をあげる手段がないか探って行って、アクションを起こし、運動を続けていくことが大切。
- 市としても、募金箱を設置したり、集会を共催したりして協力しているが、これからも、何ができるのか皆さんと一緒に考えていきたい。三奈子さんと再会できる日まで会を続けていけるように！！

< 佐藤 康雄 県拉致問題調整室室長 >

- 相次ぐ北朝鮮の弾道ミサイル発射や核実験で、拉致問題の解決が遅れるのではないかと危惧している。
- 拉致問題を風化させないための県の取組
①県民集会の開催 ②各地で巡回パネル展の開催(40~50回開催) ③学校にて人権教育の実施
- 国民一人ひとり拉致を許さないと声をあげていくことが、政府を動かし、解決することにつながる。我が身のこととして考えていくことが大切である。
- 拉致問題の解決、日本人を救うのは、日本国政府しかない。

< 大石 慶太郎 長岡青年会議所理事長 >

- 青年会議所には20才~40才の人が所属。地域や国内各地で活動している。
- ブルーリボンを付けて活動しているが、「そのリボンは何ですか？」と聞かれる。三奈子さんは、自分と同じ世代だが、まだ知らない人がいることが残念。世論を形成していくことが大切。
- アジア地区の会議がウランバートルで行われた。その際、拉致問題について広く知ってもらうために映像を作成したが、北朝鮮問題で放映できなかった。これから動画を拡散していきたい。

< 大澤 昭一 特定失踪者家族会会長 >

- 読売新聞に弟の大澤孝司のことが掲載されてから15年が経過。
- 単独で国に申し入れても効果がない。そのため、特定失踪者家族会を結成。直ちに60家族が参加。お互いが元気なうちに再会し、抱き合いたいという思いで活動してきている。
- 拉致され北朝鮮で生存している被害者、特定失踪者の全員を救出することを願っている。これからも、ご支援をお願いしたい。
- オランダにある国際刑事裁判所(ICC)に申し立てることを計画。国際社会に惨さと470名余りの人が拉致されていることを訴えていきたい。再会するまで運動を続けていきたい。

☆ メッセージ

< 井口 明彦 長岡高校同級生 >

- 20年前に高校3年生。卒業して1ヶ月後に行方不明になり、それから19年半が経過。力になりたいと思い、空港でのチラシ配布に参加。
- 多くの世論を喚起したいと考え、映像を作成。~映像放映~(さがす会HPからも見る事が可能)無事に家族のもとに帰ってくることを願っている。

< 桑原 昭 退公連小千谷支部長 >

- 退職教職員小千谷支部の総会で中村クニさんから講演してもらった。そのことが小千谷新聞に掲載され、拉致問題に関心をもつ人が多くなった。しかし、横田めぐみさんのことを知っていても、中村三奈子さんのことは、知らない人が多い。
- 世論を動かす力は、一人ひとりの関心を高めること。さがす会を各市町村に広げて行って欲しい。今後も、拉致問題を風化させないために、市民集会や署名活動、人権教育をしていくことが大切。活動を続けていきたい。

☆ 韓国訪問を通して(11月29日~12月3日)

- 新潟経済事務所にて・・・小国町出身で元日本大使館勤務の方にお会いする。拉致問題についてはよくご存知であったが、三奈子の情報はなかった。宗教関係についても調査していただいたが三奈子の名前はなかったという。
- 鐘路警察署・・・・・・日本からの調査については一応終結。しかし、依頼があれば直ぐに捜査の体制はできている。
- 日本大使館・・・・・・風化させてはならない。いつでも協力できるので連絡をしてほしい。

☆ 講演「失踪・拉致の国際的責任追及」

弁護士 須田 洋平 様

- 私も三奈子さんと3才違い。拉致問題は人ごとではない。
- 北朝鮮は、国連の決議、繰り返しの警告を無視。
- 拉致問題が膠着しているのはよくない。
国連が、平成25年に調査委員会を立ち上げた。
- 平成26年2月、国連が、100人以上の日本人が拉致された可能性があると発表。
- 調査委員会が、人道についての罪、国際犯罪であると結論づけた。
- 国連から拉致問題を国際刑事裁判所（ICC）に訴えなさいと勧告。
- 民間人にひどい人権侵害をすると処罰される。
- 国際刑事裁判所（ICC）
 - ・ 1998年ICCをつくるのが世界的会議で決定。
 - ・ 2002年ICCがつけられた。
 - ・ 2007年7月1日に日本も加盟。現在に至る。
- ルワンダ、ユーゴスラビアのできごとから、人権侵害を裁く裁判所をつくろうという動きが見られるようになった。
- 人権侵害をしたら裁かれるということは抑止力になる。
- 強制失踪
 - ・ 国のトップが指示し、12カ国の一般市民を連れ去った。
 - ・ 拉致された人の情報が分からない。三奈子さんも20年近く情報が分からない。→強制失踪にあたる。
 - ・ どのように拉致されたのか。→特殊部隊を送り込んで拉致。強制失踪にあたる拉致。
- ICCで裁くためには、犯罪が行われた場所がICC加盟国でなければならない。
- 安保理決議は中国、ロシアが反対すると成立しない。
- 2007年以降の犯罪であればICCで裁かれる。三奈子さんはそれ以前。しかし、拉致は行方が分かるまで犯罪が続いている。失踪が続いている限り犯罪は続いている。→めぐみさん、三奈子さんの件も該当。
- 人道犯罪、拉致問題の解決のために民間ができることはやっていきたい。



<質問>

- 北朝鮮はICCにいつ加盟？・・・加盟していない。
- 加盟していない国を裁くのは安保理の決議が必要。
中国、ロシアは常任理事国。1国でも反対すれば不成立。
- どのような手順で裁かれるのか？
逮捕状は出せても逮捕できない。ICC加盟国には出国しないと思う。

皆様からいただいた声

- 新しい話が幾つかあり、早く拉致が解決するとういと思いました。民間でできることをやっていくことも大切かと思いました。頑張ってください。
- 一般市民が拉致を知っているがどのようなお手伝いがあるのか具体的に分からない。
- ほんとうに心がいたみ辛いことであります。関係する皆様方くれぐれも自愛の上ご活動いただきたいと
思います。素晴らしい集会でありました。風化しないように微力を尽くしたいと
思います。
- 人権問題を聞き、新たな道への光がさした感じがしました。市長の話が良かった。この気持ちを継続して
ほしいと思いました。長岡市民の参加が少なくがっかり。
- 風化されることがないように世論の力を盛り上げ、政治力へつなげていく。お母さん一人の力は限界が
あります。ヘルプの声を出してください。
- 何一つ解決されぬまま時間だけが過ぎ歯がゆい思いだ。お母さんは是非健康に気をつけていただきたい。
それがベースで会う。応援する人はいっぱいいます。
- 三奈子さん帰る日まで頑張りましょう。

☆ 活動報告

年月日	活動名	場所
2016.9.17	国民大集会（東京）	シェーンバツハホール
9.19/10.23	署名活動	山古志闘牛場
11.15	忘れるな拉致 11・15 県民集会	新潟市民芸術文化会館
11.29	訪韓（大使館、鐘路警察、新潟経済事務所等） 12月3日まで	韓国ソウル中心
12.9	川崎小学校6年生の人権教育学習会	長岡市立川崎小学校
2017.1.2	署名活動	弥彦神社
2.17	米山県知事訪問	県庁
3.5	大沢孝司さんと再会を果たす会	巻文化会館
3.24	しおかぜ短波放送収録他	県民会館
4.8	新潟空港にて韓国向けチラシ配り	新潟空港
4.23	国民大集会（東京）	シェーンバツハホール
4.27	長岡市長訪問	長岡市役所
5.12	特定失踪者家族会（東京）	調査会事務所
5.23	退公連小千谷支部研修会	小千谷大竹会館
7.16/8.12	署名活動	山古志闘牛場
7.18	特定失踪者家族会加藤大臣訪問	内閣府
9.10	中村三奈子さんをさがす会集会	アオーレ長岡

拉致被害者を取り戻すために

2月17日 米山県知事訪問	4月27日 磯田長岡市長訪問	11月29日～12月3日 韓国訪問（大使館・鐘路警察署等）
		
2月18日新潟日報掲載		

三奈子に届いて

三奈子 元気であるよね。

この手紙はずっと前からお世話になっている方から頂いたものです。38年前に三奈子と一緒におじゃました時の事を思い出して絵も描いてくださってるんだよ。

雪の降る寒い日でした。三奈子は座布団の上でいい子になって私達のおしゃべりを聞いてくれていたのでしょうかね。

「可愛かった三奈ちゃんの事が私の頭から離れません。」と添え書きもあります。

今でも励ましの言葉や温かいお手紙をいただきます。

感謝でいっぱいです。

三奈子 待っています。 母

